

刻む会 たより

No.61

2016. 6. 21

長生炭鉱の水非常を歴史に刻む会

共同代表

井上洋子・内岡貞雄・木村道江

事務局

宇部市常盤町一―一九(宇部緑橋教会内) TEL 0836(21)8003

カンパ振込先

ゆうちょ銀行 口座番号 01590732405

名義 長生炭鉱の「水非常」を歴史に刻む会

年会費

《正会員》個人3,000円 団体5,000円 《賛助会員》個人1,000円 団体2,000円

ホームページ

<http://www.chouseitankou.com>

メール

chouseitankou@me.com

大きな力を引き寄せるために

共同代表 井上 洋子

水非常から74周年の今年の追悼式は、駐広島総領事のお力添えがあり、韓国仏教宗団協議会の指導者50数名が現地に追悼にいられた。韓国国内ではこの事が大きく取り上げられ、世論の高まりにつながってきている。

私は加害国の一人としてこの運動にかかわっているが、何より被害者の声、被害国の声がこの運動の土台になるべきと思っている。

「長生炭鉱水没事故」は、強制連行・強制労働の日本国内での象徴的な出来事であり、今なお、海底深く閉じ込められている183名の遺骨の声なき声は、多くの心ある市民を突き動かす力を持っている。

市民運動のレベルから相対的な力を持った運動にするためには、韓国国内での世論の高まりを生み出し、政治レベルでも取り上げてもらうことが必須条件となる。そのためには、

さらに多く、韓国から現地に足を運ぶことが重要だ。

山口宇部空港とインチョン空港との定期便が始まれば、宇部に降り立つ韓国の人々に長生炭鉱追悼の観光コースを旅行会社にお問い合わせすることもひとつの方策だ。

また、韓国政府は、今年戦争犠牲者の遺骨を確定するための「遺伝子バンク」を3千万円の予算で設立する予定で、長生炭鉱の犠牲者もこの対象になるよう要請していく必要がある。韓国政府の「国外強制動員犠牲者等支援委員会」と「刻む会」がこの間築いてきた信頼と絆をもって、韓国政府並びに国会議員等々とのつながりを何とか模索していきたい。

6月5日に山口朝鮮初中級学校で、「学校創立60周年記念学生・同胞大運動会」が開催された。前日から大雨で開催が危ぶまれていたが、当日も朝から小雨が降り続ける中、30分遅れで開催された。子供たち、先生たち、親や保護者、同胞の皆さんの固い固い団結のもと大成功に終わった。

途中、ある競技が終わっても子供たちがグランドに残り、一斉に「やろう！やろう！」と叫び始めた。すると、一人の先生が駆け寄ってきて「やりましょう」と言われた。すぐさま組体操が始まった。水たまりがあちこちにあるグランドでは組体操は無理だと先生方は判断されたが、子供たちが率先し競技を始めたのだ。泥んこになりながら必死に演技する子供たちの姿に会場は感動の渦となった。

どんな困難な環境であっても、やろうと決めたことはやり遂げたいという子供たちの強い意志を見せて頂いて、「補助金問題」も「遺骨問題」もこの子供たちのように困難な状況を切り開いていく強い意志を持ち続けたいと思った。

遺骨が山に埋まっていたなら、掘り起こせただろうし、実現した可能性は極めて大きい。しかし、残念ながら「長生炭鉱」は海の底にある遺骨だということ、この困難な状況を打開するために、私たちは全力を尽くして大きな力を引き寄せたいと思う。



FW 學習 & 交流會、

チヨアツタ（良かった）

共同代表 内岡貞雄

【はじめに】

春のFWを4月

長生炭鉱事故の悲惨さ学ぶ

「水非常」を
歴史に刻む会
ファイルドワークに30人

いました。当日は曇り空でしたが、中学生や小学生の参加は嬉しいことでした。小学校のお子さん二人と参加されたお母さんは「学校から配られたチラシを見て来ました」と言われていました。



宇部日報 (2016 年 4 月 30 日)

「お出し、残像の写真も紹介。
参加者は登場時の面影を
見返す。」「ヒヤッ 排気口」に
は感ずる。

今回、オースチン・ティ
ムとて、アラン・ティムと
て訪れた。2年前にも韓
国の青少年連年の映画と
て訪れた。子孫で参加し
たという資金とは韓国
の風土を持つ。などとい
う熱心した」と話

(田)

Q 長生炭鉱の石炭生産の急増は？

A 一九三九年から。正解です！

五折問題ですが、小4年の子どもさんは『正解』という声にニッコリ。次回も子どもたちが参加してくれるように工夫したいと思います。

【現場を歩く】

「朝鮮人合宿寮」の前で。へ寮の周囲は3.6 mの板塀で囲まれ、24時間監視下におかれ強制

労働をさせられたことなどを説明。また、ピーヤを見ての帰路、長生炭鉱の中ほどの道（合宿寮から坑口まで）を通過して「追悼ひろば」へ戻られた方もいました。ピーヤの見える踊り場で、2016年1月9日（土）NHK教育再放送「心の旅」・文化人類学者 加藤九祚（李九祚・イクジョン）さんについて話しました。

へ加藤さんは10歳の時、宇部の長生炭鉱で坑木運搬する仕事をしていたお兄さんを頼って朝鮮半島から一人で来宇、西岐波小4年に編入学したこと、カルタ遊びに加えてもらったこと、ある富農家の玄関近くの柿の木を見ていたら、柿を盗んだという疑いをかけられ、盗んでもいないのにお兄さんから棒で数十回たたかれ、二三日寝たきりになった。しかし、それでも加藤さんはお兄さんを恨むことをしなかった。なぜなら、当時、朝鮮人は差別され見下され、柿を盗んだと言われるくらいはガマンの範囲だと、子どもながらに感じていたから。日頃からお兄さんは、朝鮮人は何事につけても後ろ指をさされない生活をするのが大切だと言っておられたので、兄を恨む気持ちはさらさらなかったという。く

話しながら、私自身、涙腺が緩みそうでした。

Q 海底坑道で漁船の焼玉エンジン音（ポン、ポン、ポン）が強くなったり弱くなったりすると言っているのはどうしてですか？

A 海底坑道は水平でなく、岸のピーヤからポンプ室まで少し下り気味、ポンプ室

あたりが最も低く、そこから沖に進むにつれて緩やかな上りになっているからです。



「追悼ひろば」で犠牲者に献花

Q 坑口がほぼ特定されたということですが、斜坑はどのくらいの傾斜なのでしょう？

A 坑内で仕事をしたことのある方の証言では、15度から20度くらいだそうです。上りの100mを歩くのは結構きつかったそうです。水没事故の時、坪下（斜坑から水平坑道への転換場所）まで来て、力尽きた犠牲者がいたのではないかと想像されます。

【第二部 交流会】

焼肉・野菜・味噌汁・ご飯等々美味しそうな料理がずらりと並んで、笑いが絶えない交流

会でした。子どもたちも嬉しそうに食べていました。沖縄（石垣島）の話、部落差別を助長する「地名総鑑」を許してはならないという集会の話、反原発の話などの交流が続きました。交流会の準備中の最中、地元の方が来られて貴重な証言をされたというので、後日、その方のご自宅を訪問し、詳しいお話を伺いました。

○古者Sさんの証言（昨年Tさんの証言も併せて）
事故当日、朝鮮人の人々は会社の誠意のない対応に怒りを爆発、事務所や倉庫のガラスを叩きながら抗議を続けた。西光寺の高台から三つの水柱がはっきり見えた。長生炭鉱の浜中集会所（当時は火葬場）の向こう隣（西側）に「朝鮮人合宿寮」があった。「寮」の西出口から直線状の道路を通り、朝鮮人の人たちは坑口に入っていた。お父さんと一番上のお兄さんは長生炭鉱関係の仕事に就いており、自分も毎日、新聞配達で事務所に顔を出していたので、顔見知りの職員も多くいた。労務のS課長などはよく私に声をかけてくれた。

事故の少し前だったが、海底坑道に入ることがある。斜坑を下りてしばらく行くと、坑道に水がいっぱいで、子どもの背丈では歩いて渡れないので小舟で渡った。どこまで行ったかはっきりしないが、ここから早く出たという気持ちだった。斜坑を上る時は坑外に出られると思って嬉しかった。（Sさんはおそらくササ部屋へ坑内事務所へまで行ったのだろう。）

地元住民の方々と交流するために、昨年からフィールドワーク後に交流会を行っています。隣家のご夫婦をはじめ、ご近所の皆さんとも少しずつ顔見知りになりました。「追悼ひろば」の交流が、ピーヤ周辺の海に眠る遺骨収集へ近づくように、努力したいと思います。ちなみに来年春のフィールドワークは、地元の方々に多く来ていただけるような企画をと、今から張り切っています。



長生炭鉱第二坑口跡 床波一丁目
（周囲にコンクリートの残骸がある）



活動日誌

（前回たより以降）

※太字：詳細は記事にて紹介

2016年

- ▽3月25日（金）『刻む会たよりNo.60』発送作業
- ▽3月29日（火）韓国真相糾明委員会報告書日本語版発刊記者会見実施
- ▽4月13日（水）山口朝鮮初中級学校補助金力ツトに対する県庁要請行動
- ▽4月14日（木）第1回運営委員会
- ▽4月23日（土）第5回春のフィールドワーク
- ▽5月3～5日（火～木）韓国・富川市プチョンの中学生との交流
- ▽5月8日（金）プチョンの中学生FW
- ▽5月10日（木）第2回運営委員会
- ▽5月13日（金）山口県医療労働組合連合会学習会講師派遣
- ▽5月18日（水）山口朝鮮初中級学校補助金力ツトに対する県庁要請行動
- ▽5月20日（金）遺伝子解析センターとの相談会
- ▽5月21日（土）第3回定期総会
- 映画『隠された爪跡』上映会
- ▽5月27日（金）第30回長生炭鉱水没事故問題解決協議会
- ▽5月29日（日）国際交流広場無窮花友好親善の会総会参加
- ▽6月3日（金）宇部市文化財審議会
- ▽6月5日（日）山口朝鮮初中級学校創立60周年記念学生・同胞大運動会
- ▽6月8日（水）山口朝鮮初中級学校補助金力ツトに対する県庁要請行動
- ▽6月10日（金）第3回運営委員会
- ▽6月15日（水）名簿精査作業

韓国・富川(プチョン)の中学生との交流会

2016年5月3～5日

韓国・富川(プチョン)から約30人の中学生が来日し、阿川、貴和の里、長生の3つのグループに分かれて活動しました。長生グループとして約10人を受け入れました。日本人の子ども達との交流を目的に4つのプログラムを用意し、周辺の中学校へも案内のチラシを配布したところ、8人の中学生と2人の高校生、1人の大学生の参加がありました。子ども達の交流を通して、大人も子供も多くのものを学びました。そして、これを契機に富川(プチョン)側の主催団体である「ゴリウル青少年の家」と、私たち「刻む会」の関係がより深いものとなりました。

プログラム① 日韓料理交流 (5/4 10～13時) 4つのメニューを一緒に料理・試食



プログラム② 長生炭鉱フィールドワーク (5/4 14～16時)

暑い中、2時間もの間、長生炭鉱跡地付近を歩きました。



プログラム③ カッタの湯・宿泊

カッタの湯へ行った後、宿泊場所の藤井和義さん宅で交流



富川(プチョン)側引率者のオム先生がチャンゴの説明をして、日本人の子ども達が実際に代わる代わる鳴らしてみました。

プログラム④ 宇部新川まつり (5/5 10~12時)

引率の大人が見守る中、日韓の子ども達と一緒にお祭りを楽しみました！



☆前日(5/3)からスタッフと一緒に泊まってくれたお友達もいました。

ウェルカムパーティでは、日本人の子ども達が「かえるの合唱」を披露。韓国の子も一緒に輪唱をしてくれました。

また、韓国の子も達によるオカリナ演奏もあり、楽しいひと時を過ごしました。



プレゼントを受け取りました



プチョンの皆さんより、ピーヤの絵をプレゼントいただきました。海の点々はたくさんの人々の指紋です。犠牲者が海を渡って祖国へ帰れるようにとの願いが込められています。



韓国で出版されている子供向けの本2種類を5冊ずつプレゼントしていただきました。今後は、この本の日本語版の出版に向けて検討していきます。



5/8 福岡へ向かう前、来日したプチョンの子ども達・スタッフ全員で長生炭鉱の現地を訪れ、学習をしました。



5/4に宿泊した子ども達は、このような振り返りのための感想文や絵を描きました。これは主催団体である「人間いきいき研究会」で後日文集としてまとめられ、参加者に配られます。「刻む会」からは参加した日本人の子ども達に簡単な写真報告集を送りました。

朝鮮学校を支援する山口県ネットワーク



県庁前広場座り込みの様子

毎月の県庁前座込み行動にオモ二会と共に「刻む会」も取り組んでいます。この間、何度も一人でビラまきをして市民に呼びかけを行ってくださっている肝付さん(「刻む会」会員)に原稿を寄せていただきました。



子ども達の笑顔がはじけたよ!

山口朝鮮初中級学校(下関)運動会!

創立 60 周年記念学生・同胞大運動会

“ともに生きる”とは

肝付芳寛

私は家計の足しにと住宅街の道路と川に挟まれた6畳ほどの雑草が生茂る小石だらけの空地をまた耕していた。まだまだ赤子の頭ほどの石も出る。三ツ鍬で土をおこそうにも親指ほどの太さのつる草の根が邪魔をする。散歩中の老婆が声をかける。“何を植えてですか”と。“イモでも植えようかと”と答える。年を聞くと82歳とのこと。田を世話するものがおらず、遊ばせたままになっていて“今の若い者は汗して食べ物を作るのを厭う”とこぼされる。私が66歳だと答えると“私に言わせるとまだ青春じゃないですか。15年も世話するといいい畑になるでしょうよ”と面白いイモの植え方を説明されて去られた。しばらくしてケラケラと笑う声が。見ると70過ぎの老婆である。“無駄なことを。川が増水したら流されるじゃないですか”と。その可能性はゼロではない。水面から1mほどの高さしかないから。でも3年前に始めてここを畑にして何本かのキュウリを私は得ている。彼女はまたケラケラと笑いすぐに去った。人には2種あり。何か行動をおこすと前進せよと後ろにまわって背中を押す人と前にはだかつて冷やかす者が現れる。

山口市のアーケード街にある井筒屋の前で県庁前座り込み集会への参加を呼びかけるチラシを道行く買い物客に「下関に朝鮮学校があります。今県からの補助金が出ていないで

す。これを読んでください」と言い手渡しする。「補助金が出ていない…」と聞くやサツと手を差し出された30代後半の女性がいた。「失礼ですがどこにお勤めですか」と聞きたかったが、連れ合いらしい男性と談笑していたのでそれははばかられた。「いらないです」ではなく「大丈夫です」と言い拒否する10代後半、20代前半の女性にあう。「大丈夫です」と言われ私は二の句が出ない。どうもチラシの内容に関係なく、チラシというものを硬い微笑を見せ拒否する。「大丈夫です」という言葉は“自分の興味以外のものには関わりたくない。それで充分今生きていますヨ”と言うメッセージなのだろうか。

“大丈夫なんてとんでもない。日本の行政の朝鮮学校への補助金不支給は制度差別。日本の亡国への道行の一つの表れなんですよ”と言いたいのだが、今はとまどうばかり。とまどうのは私の頭の中の理解・借り物であって、口に出せても心に刻まれての心からの叫びになっていないからであらう。

『刻む会たより No.57』の9頁に「戦時に朝鮮人を監視し、動員をすすめたものが、戦後、山口県で実権を握り、朝鮮人を監視し、その権利を制限し続けたのである」とある。この文は記号ではない。血と涙と痛みに満ちた歴史である。この歴史を生きた人々の命にふれ同じ怒りをもって言えること、そこではじめて、ともに生きる、と言えるのだろう。



会計報告 (2016 年 4 月 1 日～2016 年 5 月 31 日)

(円)

【一般会計】

	科 目	年度予算	期間実績	実績累計	率	備考
歳入						
1	会費	360,000	274,000	274,000	76.1%	
2	寄付金	1,200,000	86,431	86,431	7.2%	※
3	物販	60,000	5,000	5,000	8.3%	
	証言・資料集	30,000	5,000	5,000	16.7%	
	その他	30,000	0	0	0.0%	
4	雑収入	5,000	0	0	0.0%	
5	前期繰越金	0	0	0		
6	特別会計より繰入	0	0	0		
	合 計	1,625,000	365,431	365,431	22.5%	
歳出						
1	事務費	55,000	31,713	31,713	57.7%	総会資料印刷送付他
2	広報費	280,000	0	0	0.0%	
3	会議費	30,000	0	0	0.0%	
4	追悼碑管理費	10,000	672	672	6.7%	電気代
5	活動費	820,000	56,588	56,588	6.9%	
	学習会等	70,000	52,908	52,908	75.6%	春 FW, 富川交流会
	追悼集会	500,000	0	0	0.0%	
	その他活動	250,000	3,680	3,680	1.5%	遺伝子情報センター派遣
6	他団体会費等	50,000	10,000	10,000	20.0%	無窮花の会
7	雑支出	40,000	11,190	11,190	28.0%	
	手数料	20,000	6,190	6,190		
	その他	20,000	5,000	5,000		櫻井葬儀店香典
8	予備費	40,000	0	0	0.0%	
	小 計	1,325,000	110,163	110,163	8.3%	
9	特別会計へ繰出	300,000	0	0	0.0%	
10	繰越金	0	255,268	255,268		
	合 計	1,625,000	365,431	365,431	22.5%	

※ 寄付者（敬称略）

石田 耕一	猪股 誠司	今橋 宣子	内岡 貞雄	内岡三枝子	杵渕 智子
香渡 清則	白川 健一	鈴木 裕子	武永 佳子	戸井 雄二	鳥家 治彦
長澤連三郎	永富 彌古	野村 孝子	花房 俊雄	飛田 雄一	黄 正 吉
御手洗文良	森次美代子	大和裕美子	湧川 静子		
在日大韓基督教会西南地方会社会部			山口県医療労働組合連合会		
春の FW 参加者有志			（その他匿名 4 名）		

会員数 (2016 年 6 月 12 日現在)

正会員 83 名 (個人 74 名・団体 9 名) / 賛助会員 186 名 (個人 181 名・団体 5 名) / 寄付者 249 名

【追悼碑特別会計】

収入			支出		
科目	金額	備考	科目	金額	備考
前年度繰越金	1,978,116				
繰入金	0		繰越金	1,978,116	
合 計	1,978,116		合 計	1,978,116	

【遺骨収集等特別会計】

収入			支出		
科目	金額	備考	科目	金額	備考
前年度繰越金	1,792,900				
繰入金	0		繰越金	1,792,900	
合 計	1,792,900		合 計	1,792,900	

以上感謝をもってご報告いたします。
引き続きのご支援をお願い申し上げます。

運営委員会報告

(2016年3月11日～6月12日)

事務局長 小畑太作

【委員会開催】

- ① 2015年度第10回 3月15日(火)欠席2名
- ② 2016年度第1回 4月14日(木)欠席1名

(※この回より数え方を会計年度に変更)

- ③ 2016年度第2回 5月10日(火)欠席2名
- ④ 2016年度第3回 6月10日(金)欠席2名

【学習会・フィールドワーク受け入れ】

- 5月29日(日) 山口県医療労働組合連合会学習会に委員を派遣

☆学習会等の開催

- ① 第5回春のフィールドワークの企画実施。地域の小中学校生徒全員にチラシを配布した。
- ② 韓国富川市の中学生との交流会を「人間いきいき研究会」と共催し、現地学習会を行った。
- ③ 映画『抗いの記』の上映会開催について検討中。
- ④ 2016年度第3回総会後に映画『隠された爪跡』の上映会を開催。

【「追悼ひろば」の拡充】

韓国富川市の中学生による絵画の設置することとし、設計担当者を決定した。

【遺骨等収集】

- ① 政府交渉のために、引き続き元国会議員を通して地元選出国会から厚労省及び地元自治体との交渉経路の構築を継続。
- ② DNA鑑定実施に向けて、犠牲者と遺族のデータベースを作成中。参議院内勉強会とNPO法人遺伝子情報センターに委員を派遣し「戦没者の遺骨収集の推進に関する法律」及び遺伝子鑑定実施の学習。2016年7月2日(土) 大邱特別市にて開催予定の韓国遺族会において検体採取と鑑定の実施計画を策定した。

【宇部市長との協議】

第30回長生炭鉱水没事故問題解決協議会に参加。市役所側は、地域福祉課・教育委員会・国際政策課・水産振興課より7名が出席。市民側は、7名(いずれも「刻む会」運営委員)が参加。

① ピーヤの説明板について

3月1日(火)に人権侵害に該当する記述に関する「異議申立書」を提出したが、市教委事務局は、市教委会議にて取り扱っていないことが判明。内容の問題と共に、違法な事務執行に対する対応を検討予定。

② ピーヤ等の保存

ピーヤの史跡登録について、本来、申請制ではないが市教委の促しを受容し申請書(但し市教委から示された書式は「調書」であったため「調書」を改編した申請書)を2月18日(木)に提出していたが、その後も市教委会議にて取り扱われていないことが判明。年度末から延期となった文化財審議会(市教委の諮問機関)が6月3日(金)に開催され、そこで報告されることで傍聴した。審議会は文化財保護条例に基づき、諮問されていないことを理由に差し戻しとした。当然の判断であるが市教委の事務的判断ミスであり、条例に基づく執行ができない市教委が露呈したと言わねばならない。今後もどのように取り扱われていくのか注視していく必要がある。

一方で、宇部市政はピーヤ前の海岸への消波ブロック設置と防波堤のかさ上げ工事を予定している。防災上の観点のみならず、歴史と国際平和の観点を加えた施策が必要であることを要望したが、対応の意向は示されなかった。市議会等を通して計画再検討を要望していく必要がある。

③ 市民への教育

市民への教育の方策の一つとしてかねてから提言してきた「宇部市石炭記念館」への展示について、文書による提案書を提出した。今後更に具体的に提案することを確認した。

④ 「追悼集会への協力」「遺骨等の収集と返還」「追悼碑への協力」については時間が無く継続となった。

第31回協議会は宇部市役所側が終了時の日程決定を拒否。改めて日程を調整することになった。7月中開催の予定。

【関係資料収集】

紙媒体資料と映像資料のいずれも、デジタル化を進行中。将来的にはインターネット上にライブラリを開設し設置していく予定。

【資料の発行】

韓国で出版されている長生炭鉱に関する書籍二冊について、韓国富川市の市民団体「ゴリウル青少年の家」の協力を得て、日本語版出版の実施に向けて検討を開始した。当会の創立25周年に当たり『記念誌』の発行を検討。『証言・資料集』第三集との兼ね合いもあり実施可能な計画を策定予定。

【山口朝鮮初中級学校への助成金停止問題】

① 「朝鮮学校を支援する山口県ネットワーク」に参加協力し、毎月開催の県庁前抗議行動と座談会ならびに下関市役所への申し入れ行動に引き続き参加。チラシとHPの作成の担当を継続している。また運動経費の管理も当会が担うこととなった。

② 宇部市役所に対しては、小畑太作事務局長が、この間の寄付金拒否について同市職員課に是正の申入書を提出。また、違法な補助金停止についても同市議会に法的検討を実施するよう請願書を提出した。

【他団体との連携】

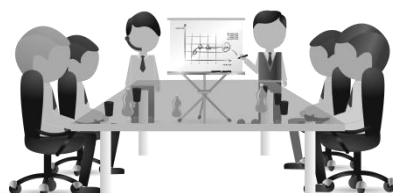
① 「関東大震災時朝鮮人虐殺の事実を知り追悼する神奈川実行委員会」に団体会員登録した。

② 「人間いきいき研究会」と共催で韓国富川市の中学生との交流会を受け例実施した。

③ 「国際交流広場無窮花友好親善の会」2016年度総会に委員を派遣した。

④ 韓国政府の依頼を受けて(仮称)『日本の強制動員現場ガイドブック』に協力することとした。

⑤ 韓国ソウル市に建設計画の「植民地歴史博物館」に団体賛同を決定。



第3回(2016年度)定期総会 報告

書記 山内弘恵

2016年5月21日(土) 13時30分～14時40分
宇部緑橋教会にて開催され、正会員数82名のところ、実出席19名、委任状出席20名、計出席39名、傍聴者2名で以下の議案が審議され、全て異議なく採択されました。

①議長並びに書記選任

議長 島敬史 書記 山内弘恵

②議事日程

③議事録署名人選任 岡崎絹江 高田豊

④2015年度活動報告 ※

内岡貞雄共同代表より議案書に添って報告

⑤2015年度決算報告並びに会計監査報告

小畑事務局長より議案書に添って報告、続いて眞鍋みどり会計監査委員より会計監査報告

⑥運営委員選任

共同代表 井上洋子 内岡貞雄 木村道江

事務局長 小畑太作

書記 山内弘恵

その他運営委員 金静媛 佐々木明美 藤井和義

藤本一規 横山潤 徐鶴奎

⑥顧問選任 島敬史

⑦会計監査委員選任 眞鍋みどり 宮本輝男

⑧2016年度活動計画(案) ※

井上洋子共同代表より議案書に添って議案書の誤字訂正の上、提案

⑨2016年度収支予算(案)

小畑太作事務局長より議案書に添って提案

【質疑応答】

Q 遺骨の遺伝子解析にどのくらい費用がかかるか？

A 通常のDNA鑑定料金は一人当たり1万3千5百円。遺骨の状態的に追加で補助的検査が必要となる。長生炭鉱の犠牲者については骨からの解析になる見込みなので、3万円/1体ではないかと見込まれる。

※なお、④活動報告の抜粋と⑧活動計画は下記をご覧ください。正会員の方々は事前に議案書を送付していますが、賛助会員ほかの方々は議案書をご覧になりたい方は、事務局までご連絡ください。

【2015年度活動総括(評価と展望)】

(抜粋)

(1)はじめに

私たちは、『水非常』という悲惨な事件を生んだ侵略戦争や植民地支配の歴史を反省し、再び他民族を踏みつけにするような暴虐な権力の出現を許さないことを誓いました。昨今の社会状況をみますと、その誓いを堅持していくことがとても大切になっています。

2015年5月の総会以後、「刻む会」は活動内容の検討、実施、成果と反省を定例の運営委員会に付し協議を行ってきました。以下、項目ごとに報告します。

(2)74周年追悼集会と「追悼ひろば」の拡充

今年の追悼集会は韓国遺族15名及び通訳者を招聘しました。また韓国仏教宗団協議会から50数名の僧侶の方々の参列を得て盛大に行われました。日韓両国に対して、こうした取り組みを「遺骨収集」への協力が得られる方策に繋がっていかなくてはなりません。午後(第二部)は、殿平善彦さん(強制労働犠牲者追悼・遺骨奉還委員会共同代表、浄土真宗本願寺派一乗寺住職、北海道深川市)にご講演いただきました。昨年9月、北海道から韓国ソウル(パジュ)まで115体の遺骨奉還が行われる際、光明寺(下関市)にてお手伝いをさせていただき、それが殿平さんとの「出会い」となりました。殿平さんの力強い講演に勇気をいただきました。



今年1月、追悼ひろばの西側壁面に「長生炭鉱追悼ひろば説明板」を掲載しました(日本語&ハンゲル)。翻訳は神谷丹路さんによるもので、山口武信元代表と澄田亀三郎元事務局長時の繋がりが続いています。説明板の右に「本名・創氏名対照一覧」を載せました。名前がかけがえないもので、ここに掲載された名前は本貫(宗族集団の始祖の出身地とされる地名)・姓

(父親の姓を継ぐもの)・名の三要素で構成されています。一覧表は、本名とカッコで創氏名を示しています。創氏改名が1940年に強制されたという事実だけでなく、それが「朝鮮人一人ひとりの人格を貶めたこと」を読み取らねばなりません。「追悼ひろば」に子ども達の絵画を展示する件については、「地域との連携」という目的をはじめいろんな要素が考えられますので、今後、委員会で丁寧に検討を続けます。

(3)ピーヤの保存等

ピーヤ(排気・排水筒)の保存は、「刻む会」発足当初からの目的の一つです。ピーヤ建造からすでに80年近くが経過し、南側壁のひび割れやコンクリート剥離が進んでいます。十数年前まで岸のピーヤから出ていた排水管は、強風・荒波のため取れてしまいました。私たちは今年2月、「旧長生炭鉱排気竪坑」(以下、「ピーヤ」)に関して、市の史跡指定文化財の指定申請を行いました。「ピーヤ」は1998年、すでに山口県の近代化遺産に指定され、文化庁や県及び市教育委員会の調査等が実施済みです。本来は、市がピーヤを指定文化財として提起すべきところ、急を要するため「刻む会」で作成した次第です。

市当局は2013年7月、「刻む会」の長年の要求に応える形で「ピーヤの説明板」(長生炭鉱と石炭産業)を作成しました。しかし、懸念していたように、説明板は歴史の事実に向き合う内容ではありませんでした。特に、「私たちは先人たちの命を懸けた炭鉱への思いを未来へと継承していかなければなりません。」という文言は、絶対に認めることは出来ません。これを是認することは、犠牲者を一度ならず二度も殺してしまうことになります。私たちは、最低限、上記カッコ部分の削除を粘り強く要求していきます。

(4)学習会・研究会及びフィールドワーク(FW)について

FW参加者は、およそ200人(10団体)でした(2015年6月〜2016年5月)。山口県や福岡県の部落解放同盟の方々の呼びかけや「刻む会」たよりの情報発信等に依るものです。広島県高教組の皆さんとFWに参加した朝鮮文化研究会の生徒さんは、追悼文にとても共感し、涙ぐみながら朗読してくれました。また、山口朝鮮学校中級部の生徒さんたちには、水没事故犠牲者や遺族の深い悲しみを感じ取っていただき、11月の朝鮮学校公開授業において長生炭鉱FWで学んだことを研究発表に繋げてくれました。FWについては、今後、リピーターをどのように確保していくのかも問題です。さまざまな企画や知恵を結集しなくてはなりません。

日本語版『日本の長生炭鉱水没事故に関する真相調査』報告書が2015年12月に発刊されました。この発刊の意義は、より多くの方々に人災ともいえる長生炭鉱水没事件を知ってもらう事、元朝鮮人労働者からの詳細な聞き書きによって当時の状況がより正確に把握できる事、日韓政府関係者や県・宇部市関係者などに読んでもらい問題意識を高めていただく事などがあげられます。

最後に山口武信追悼文集『ひかり 海の底深く』(2016年3月12日発行)を発行いたしました。山口先生の長生炭鉱に関する論文をはじめ、山口先生と関わりのあった方々の寄稿を通して多くの貴重なことを知る機会となりました。



(5) 遺骨・遺品等の収集と返還について

昨年10月21日〜23日の3日間、熊本九州日商工業(株)に依頼して坑口調査を行いました。この会社

は電気探査による地下空洞調査が専門で、沖縄戦の戦没者遺骨発掘のための壕(ガマ)調査にも実績があります。12月初旬の報告会で、長生炭鉱の坑口がほぼ特定されました。今後の取り組みは運営委員会が慎重に協議を進めます。

国(厚生労働省)への協力要請は、「広範な協力体制」の構築が必要です。昨年10月、「刻む会」は岩国在住の元参議院議員・藤谷光信さん(強制労働犠牲者追悼・遺骨奉還委員会共同代表、浄土真宗本願寺派教蓮寺前住職、岩国南幼稚園学园长)と懇談を持ち、宗教界からの幅広い協力を取りつけるとともに、日韓議員連盟関係者にも話を通していただきました。また、国へ働きかける前提として山口県や宇部市の協力は欠かすことはできませんので、協力が得られるよう粘り強く協議を続けます。同時に韓国政府への協力要請を取り付けなくてはなりません。2016年4月の連合ニュースによると、韓国政府が強制労働被害者遺族の「遺伝子銀行」の構築を進めているということです。DNA検体採取を来年度の新規事業に予算申請(3億ウォン、約2900万円)しており、遺骨収集に向けての朗報です。

(6) その他

① 宇部市長との協議

長生炭鉱水没事故問題解決協議会(第26回〜第29回)を行いました。一部担当者が交代しました。そのうち中、石炭記念館2Fの年表が作り直され、長生炭鉱犠牲者を「殉職者」としていた文言が「犠牲者」と修正されました。協議での抗議と修正の要請書を迅速に提出した成果です。大きな成果はありませんが、今後も粘り強い協議を続けます。

② 他団体との交流

「NPO法人国際交流広場無窮花堂友好親善の会」総会&秋季追悼式に参加しました。先方からは2013年の長生炭鉱犠牲者追悼碑の除幕式以降、毎年「刻む会」追悼集会に参加していただいています。また、第9回強制動員真相究明全国研究集会(名古屋大会)及び事前の事務局会にも参加し、遺骨収集に対する助言をいただきました。今年3月中旬には、

戦没者遺骨DNA鑑定に関する国会学習会に参加、市民団体の皆さんとさまざまな情報交流を行うことが出来ました。この場にて、DNAは常温保管すると破壊のおそれがあることや「遺伝子情報センター」(福岡市)を紹介していただきました。今後も可能な限り、他団体と連携が図れるように努めます。

③ 山口朝鮮初中級学校補助金カット問題への取り組み

朝鮮高校の無償化除外(2010年4月)及び山口朝鮮初中級学校への補助金カット(山口県・下関市2013年4月、宇部市2014年4月)は、明らかに国や地方自治体による「教育の差別」です。昨年4月、「山口県の朝鮮学校の歴史」について学習の場を持ちました。講師に元宇部朝鮮学校初中級学校校長の許鳳兆(ホ・ボンジョ)さんをお招きして、朝鮮学校への熱い思いを語っていただきました。山口県や宇部市、下関市の山口朝鮮初中級学校への補助金カットという「教育の差別」を撤回させなければという思いを共有しました。今年の2月には総連の女性同盟山口新春講演会に出席して、京都朝鮮学校襲撃事件で最高裁勝訴に判決を勝ち取った関係者の話や朝鮮学校に関する意見交流の場を持ちました。また、朝鮮学校を支援する山口県ネットワークにも参加し、メーリングリストやホームページの作成をはじめ、県学事文書課への申入れ、県庁座り込み行動に協力・参加しています。私たちは「教育の差別」を許すことは出来ません。今後も「補助金復活」を目指し粘り強い活動を続けます。



④ マスコミ対応

追悼集会及び春・夏のFWや学習会等々、恒例の報道に加え、昨年12月の「坑口調査」が新聞報道されました。日本語版『日本の長生炭鉱水没事故に関する

る真相調査』発行についても記者会見を開催しました。また昨年6月に軍艦島（端島炭鉱三菱事業所）の世界遺産が話題になった際、韓国テレビ局（KBC）が長生炭鉱を取り上げ、局の要請に応え「刻む会」から委員の派遣を行い東京のスタジオでの収録に対応しました。さらに9月の下関市光明寺の遺骨奉還の際にもKBCの取材があり、同時にNHK（山口放送）が遺骨奉還並びに長生炭鉱水没事故の取り組みについて放映しました。毎日新聞は全国版に長生炭鉱関連記事連載し「支配した国 強制の記憶」（No.13）22、2015年8月20日から2015年9月2日）、大きな反響を得ました。今後、さらにマスコミへの対応は重要になります。

⑤その他

・在日外国人とりわけ在日コリアンに対するヘイトスピーチ（差別的憎悪表現）が関東や関西を中心に後を絶ちません。「刻む会」は、昨年11月23日、第二回の「ニッコリしようパレードin下関」に参加し、「ヘイトスピーチを許さない」取り組みを行いました。今後もうしたイベントに積極的にかかわっていきます。

・昨今、歴史修正主義者の歴史を歪曲する動きが各地で強まっています。「強制連行はなかった」論に追随し、飯塚市霊園の「無窮花堂」や「群馬の森」記憶 反省そして友好「追悼碑」、長崎市の「原爆朝鮮人犠牲者追悼碑」、さらには北九州市霊園の「慰霊碑」等々に攻撃がかけられています。「刻む会」にも歴史を修正しようと画策する新聞が、韓国・朝鮮人強制連行に対し難癖を付けてきました。

「非戦・平和、人権尊重」を掲げる市民団体と連携を密にして、情報交流を行う必要性がますます高まっています。



2016年の活動計画

〈目的〉

1942年2月3日、長生炭鉱で起こった水非常（水没事故）を歴史から消すことなく、誠実に向き合うことを通し、朝鮮半島の人々並びに在日コリアンとの友好と親善を育み、平和を作り出すことを 目的とする。

〈活動計画〉

1. 遺骨・遺品等の収集と返還

- (1) 日本国・県・市の各行政に各議員・諸団体との連携を図りつつ取り組みを促す。
- (2) 韓国の動きにも注視しながら、必要に応じて韓国の市民団体との連携を図る。
- (3) 専門業者の協力を得ながら、現存する遺族のDNAを収集し保管する。
- (4) 坑口の跡の調査など、収集実施に向けた諸調査を行う。

2. 追悼式・追悼集会の開催

75年追悼集会を開催し、これを通して韓国遺族会との連携を図る。

3. 学習会・研究会およびフィールドワークの開催

- (1) 遺骨・遺品等の返還を進めるための学習・研究を行う。
- (2) 生炭鉱のことを通して歴史と平和を学ぶための学習会やフィールドワークを開催し、また受け入れを行う。また、学習資料の提供の仕方について研究し、恒常的に使用できる資料等を作成する。
- (3) 宇部市「石炭記念館」への展示を目指し、具体的提案を作成し宇部市行政に設置を要請する。

4. 追悼碑の拡充

- (1) 子どもたちの学習、地域との連携、「追悼ひろば」の充実のため、新たに設置した壁面も含めて、子どもたちの絵画や諸資料を掲示・展示する。
- (2) 坑口付近への移動を目指して、宇部市行政と交渉する。

5. ピーヤ等の保存

- (1) ピーヤ宇部市指定史跡登録実現のため交渉を進める。
- (2) その他跡地の適切な保存を図り、「水非常」の史実が歴史に刻まれるよう努める。

6. 証言・資料（史料）の収集と編纂

- (1) 第三集の発行に向けて準備をする。
- (2) 資料などのデジタル化を進め、会員等が閲覧できる様、web上の「資料館」開設を目指し準備する。

7. 山口朝鮮初中級学校への支援

- (1) 「朝鮮学校を支援する山口県ネットワーク」の活動を通して、また全国の諸団体も連携して同校をはじめ朝鮮学校への差別政策に抗議し、改善を求める。
- (2) 同校への宇部市の差別政策に対して改善を求める。

8. その他、目的を達成するために必要な活動

- (1) 行政との交渉
地元自治体である宇部市の協力を得るための粘り強い交渉を継続する。
- (2) 情宣ならびに募金
『刻む会たより』を年4回発行するとともに、通信先リストを管理し発送先を検討し経費の削減に努める。各種イベントなどへの協力・出展を通し、情宣ならびに募金活動を推進する。
- (3) その他、運営委員会の検討を経て、目的を達成するために必要な活動を行う。

「隠された爪跡」上映会に参加して

運営委員 藤本一規

5月21日に行われた第三回「長生炭鉱の水非常を歴史に刻む会」定期総会の後に、1983年に作成された呉充功(オ チュンゴン)監督の映画「隠された爪跡」の上映会が行われました。映画会は、40名を超える参加者で盛況でした。

1923年9月1日、マグニチュード7.9の大地震が、関東地方におそいました。

関東大震災直後に政府は戒厳令を布告しました。戒厳令と同時に、「不逞朝鮮人暴動」の流言飛語が流布され、この時、6500名以上の朝鮮人が、軍隊、警察、そして日本の民衆の手によって殺されました。

この映画は、1923年の大虐殺の時にころうじて生き残った在日朝鮮人の曹仁承(チヨ インスン)さんの証言を軸に、直接目撃した20人余の証言を集めたものです。

映画の主人公であるチヨさんは、大震災の前年の22才の時、「日本に行けば白い飯が食える」からと慶尚南道居昌(コチャン)から日本に渡って来た後、あちこちを転々として建設現場で日雇い労働者として働きました。地震が起きた日、現在の東京押上付近の工事現場にいたチヨさん一行は、避難して四つ木橋付近で消防団に捕らえられました。チヨさんは、自警団、警察などによる朝鮮人虐殺に巻き込まれ、兄を殺され、自らも傷害を受けます。

チヨさんは事件後、大井町のホルモン焼き店を営みますが、夜うなされたり暴れたりすることがあると妻が語ります。

朝鮮人の遺体を集めて焼いたり埋めたりした荒川ベリで事件の60年後に遺骨の発掘を

行いますが、発見することは出来ませんでした。

主人公のチヨさんは、1984年に亡くなっておられます。朝鮮人虐殺の事実を遺した映像としては、現在とても貴重な作品と言えます。

熊本県で4月14日に地震が発生しました。地震発生から数分後に「熊本の朝鮮人が井戸に毒を投げ込んだぞ」などの差別的な投稿がツイッターに登場しました。

関東大震災の朝鮮人虐殺を思わせる流言飛語が、今日でも発生している事実を私たちは忘れてはなりません。

「長生炭鉱の水非常を歴史に刻む会」が多くの方々の協力を得て、犠牲者183人の名を刻んで建立した追悼碑は、「私たちは、このような悲劇を生んだ日本の歴史を反省し、再び他の民族を踏みつけにするような暴虐な権力の出現を許さないために、力の限り尽くすことを誓い、ここに犠牲者の名を刻みます。」との文章で締めくくられています。

「このような悲劇」には、長生炭鉱水非常とともに、関東大震災の朝鮮人虐殺があったことをこの映画で知りました。

この度発生した熊本地震の際に、朝鮮民族の方々を差別する流言飛語が出されている事実を受け、改めて「再び他の民族を踏みつけにするような暴虐な権力の出現を許さないために、力の限り尽くすことを誓う」決意が、この映画を観て湧き上がってきました。



** お知らせ **

【今後の活動予定】

- ☆7/1～3(金～日)
韓国遺族会総会
- ☆7/30(土) 夏の学習会
宇部市図書館2階講座室
『アボジは海の底』上映
- ☆8/10～11(水・木)
日本基督教団西中国教区
フィールドワーク
- ☆2017年2月4日(土)
75周年追悼集会

「刻む会」では新規会員を 随時募集中です！

☆「正会員」と「賛助会員」の二種助があります。

正会員 会費： 個人 3,000 円／年
団体 5,000 円／年
※総会議員となり、総会（5月）での議決権を有します。

賛助会員 会費： 個人 1,000 円／年
団体 2,000 円／年

ご希望の方は、①会費を添えて直接事務局へ持参下さるか、②郵便振込用紙にて入会希望の旨を記載し、会費を振り込んでください。

※なお、会計年度は4月1日～翌年3月31日です。その他、カンパも随時受け付けています。

会費又はカンパを下さった方には『刻む会たより』をお送りします！

「たより」同封物

- ☆夏の学習会チラシ
- ☆振込用紙
- ☆「朝鮮学校の子とも達がピンチです！」
チラシ